

今週のお祈り 聖霊降臨後第16主日(特定19)特祷
信じる者の力である神よ、わたしたちに信仰と希望と愛とを増し加えてください。これらによって生かされ、あなたが約束された永遠のいのちに至る道を歩み続けることができますように。父と聖霊とともに一体の神、世々に生き、すべてを治めておられる御子、わたしたちの主、イエス・キリストによって。アーメン



日本聖公会 東日本教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 318

発行日
2026年
9月13日

このところ雨降りが多いですね。肌寒い日、蒸し暑い日、不安定なお天気が続いています。感染症も流行っているようです。よく寝てよく食べ、無理をせずに過ごしましょう。静かに祈りすることも大切に。



今週の聖書 マタイによる福音書 18:21-35
21 その時、ペトロがイエスのところに来て言った。「主よ、きょうだいが私に対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」22 イエスは言われた。「あなたに言うておく。七回どころか七十倍まで赦しなさい。23 そこで、天の国はある王が家来たちと清算をしようとしたのに似ている。24 清算が始まると、一万タラントン借金している家来が、王の前に連れて来られた。25 しかし、返済できなかったので、主君はこの家来に、自分も妻も子も、また持ち物も全部売って返済するように命じた。26 家来はひれ伏し、『どうか待ってください。27 い。きつと全部お返ししますから』と懇願した。28 家来の主君は憐れに思って、彼を赦し、借金を帳消しにしてやった。28 ところが、この家来は外に出て、

百デナリオン貸している仲間の一人に出会って、捕まえて首を絞め、『借金を返せ』と言った。29 仲間がひれ伏して、『どうか待ってください。返すから』と頼んだ。30 しかし、承知せず、行って、借金を返すまでその人を牢に入れた。31 仲間たちは、事の次第を見て非常に心を痛め、主君に一部始終を報告した。32 そこで、主君はその家来を呼びつけて言った。『不届き者。お前が頼んだから、借金を全部帳消しにしてやったのだ。33 私が前を憐れんでやったように、お前も仲間を憐れんでやるべきではなかったか。』34 そして、主君は怒って、借金を全部返すまで、家来を拷問係に引き渡した。35 あなたがたもそれぞれ、心からきょうだいを赦さないなら、天の私の父もあなたがたに同じようになさるであろう。』

聖書からのメッセージ

「疲れ知らずのイエス様」 主教 高橋 宏幸

日本語の「赦(ゆる)す」という言葉は、「緩(ゆる)む」という言葉とつながりがあるそうです。程度にもよりますが、人をなかなか赦せない時もあるでしょう。あるいは、なかなか赦せない人や行為もあるでしょう。けれども、その人のすべてを赦すことができないのか、その人のある行動や言葉を赦すことができないのかを丁寧に考えてみることも大切かもしれません。あるいは、赦せない時、自分で自分を雁字搦めにしていることもあり得ます。そのような時、赦すことにおいては全くの疲れ知らずでいらっしゃるイエス様のことを思い出すよいチャンスかもしれません。